

取扱説明書

もくじ

スペースシュッパ

HP-3F

住宅用下方放出型自動消火装置

日本消防設備安全センター性能評定合格品



モリタ宮田工業株式会社

1. 仕様	1 ページ
2. 設置方法	2・3 ページ
3. 点検	4 ページ
4. 作動後の処置	4 ページ
5. 保証期間	4 ページ
6. お問い合わせ	4 ページ

この度は、自動消火装置「スペースシュッパ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本商品は、住宅用下方放出型自動消火装置です。

火災が発生した場合、熱感知ノズルが火災の発生を感知し、消火薬剤を放射して消火します。

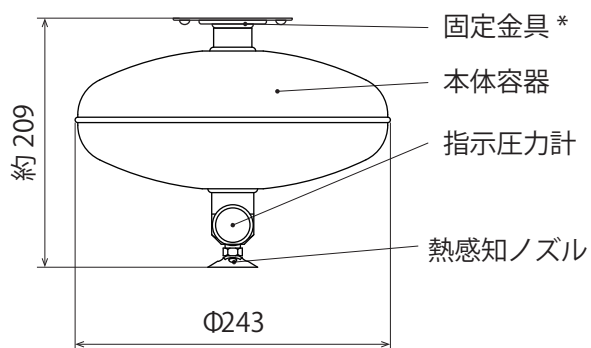
安全にご使用いただくために、本書を必ずお読みください。

お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

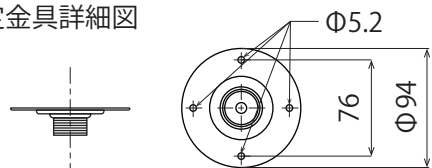
本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから、お読みください。

	警告	: 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
	注意	: 傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
		: 行為を「禁止」する記号…絶対にしないでください。
		: 行為を「強制」する記号…必ず実行してください。

1. 仕様



* 固定金具詳細図



※寸法単位 [mm]

型式記号	HP-3F
型式番号	評13-060号
種別	住宅用下方放出型自動消火装置
適応火災	一般火災・台所火災・油火災
公称防護面積	一般火災・油火災：2㎡ 台所火災：1㎡
消火薬剤	第3種粉末 3.0kg
総質量	約4.8kg
感知温度	72℃
使用温度範囲	-30～+40℃
放射時間	約5秒
外形寸法	H:約209mm/W(D):Φ243mm

- 台所のレンジに消火装置を取り付ける場合は、当社の「キッチンレオ FHL10K」または「キッチンレオ FHL4」をお買い求めください。
- 誤作動防止のため、熱感知ノズル付近の温度が高い状態で、数分間経過しないと作動しません。

下記の ①～④ の手順で、消火装置を設置してください。



警告

- ⊘ 本体容器・熱感知ノズルの先端まで圧力が常にかかっています。
絶対に無理な力や、強い衝撃を与えないでください。
- ⊘ 高温となる調理器具（ガスレンジ、IH）、瞬間湯沸かし器などの真上には、絶対設置しないでください。
誤放射する可能性があります。

1 消火装置の取付位置を決める

① 一般居室（図 1）やボイラー室（図 2）等に設置する場合

熱感知ノズルは、原則、防護したい場所の真上に設置してください。照明器具などがある場合は、少し離して取付位置を決めてください。取付高さは、床面から 2.5m 以下です。

本商品を一般火災や油火災用に使用する場合、防護面積は1台あたり 2 m² です。

2 m² 以上の広さを防護する場合は、下記の計算式で取付台数を求めてください。

$$\text{取付台数} = \frac{\text{防護する面積 [m}^2\text{]}}{2 \text{ m}^2 \text{ (1 台あたりの防護面積)}} \quad \text{※小数点以下は切り上げます。}$$

② 台所に設置する場合

熱感知ノズルは、原則、防護したい場所の真上に設置してください（高温となる調理器具等の真上は除く）。照明器具などがある場合は、少し離して取付位置を決めてください。取付高さは、床面から 2.5m 以下です。

本商品を台所火災用に使用する場合、防護面積は1台あたり 1 m² です。

1 m² 以上の広さを防護する場合は、下記の計算式で取付台数を求めてください。

$$\text{取付台数} = \frac{\text{防護する面積 [m}^2\text{]}}{1 \text{ m}^2 \text{ (1 台あたりの防護面積)}} \quad \text{※小数点以下は切り上げます。}$$

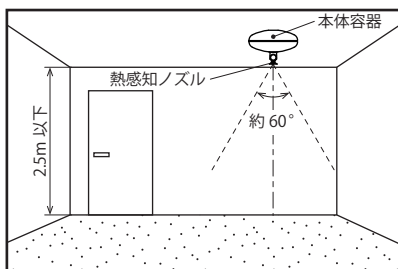


図 1

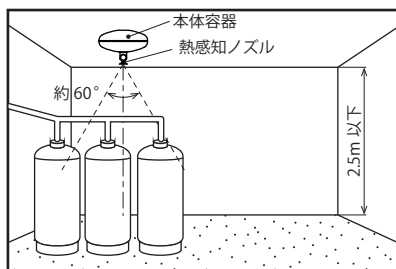


図 2

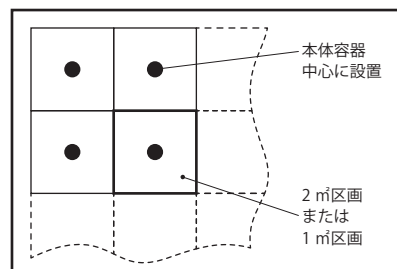


図 3



注意

- ❗ 本体容器は防護面積（2 m²または 1 m²）の中心に設置してください。（図 3）
- ❗ 熱感知ノズルは、火元と想定される場所に向けて、確実に取り付けてください。
消火薬剤は、ノズルから約 60° の円錐状パターン内に放射されます。
- ❗ 熱感知ノズル付近が 72℃ 以上に達すると、火災以外でも放射してしまう可能性があるため、十分に注意してください。
- ❗ 本体容器に表示されている使用温度範囲（-30～+40℃）の場所に設置してください。
使用温度範囲外で使用すると、十分な性能を得られない場合があります。
- ❗ ボイラー室等、+40℃ 以上の高温になる場所に設置する場合、お買い求めの販売店、または当社のお客様相談室にご相談ください。
- ⊘ 下記の場所には、本体容器を設置しないでください。
ストーブなどの発熱器具の近く、湿気が多い場所、水しぶきのかかる場所、直射日光の当たる場所、通行や避難の妨げになる場所。

2 固定金具を取り付ける

⚠ 注意

- ❗ 必ず固定金具を使用して、堅固な梁・コンクリート部等に、確実に固定してください。
- ❗ 地震や振動などで、本体容器が落下しないように、しっかりと固定してください。

① 天井裏の梁に取り付ける場合 (図 4)

取付ネジ (M5×40、M5×25) 各 2 本を使用して、固定金具が垂直になるように、確実に固定してください。

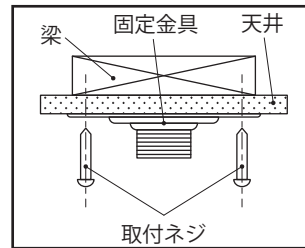


図 4

② 天井に直接取り付ける場合 (図 5)

天井にハンディアンカー用の穴を開けてください。市販品のハンディアンカー 4 本を使用して、固定金具が垂直になるように、確実に固定してください。

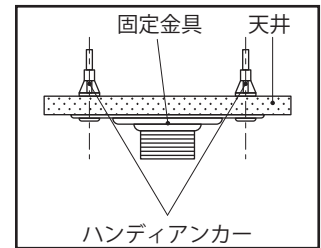


図 5

③ コンクリートの天井に取り付ける場合 1 (図 6)

天井にプラグの長さより深めの穴を開けてください。市販品のプラグ 4 本を打ち込み、取付ネジ (M5×40、M5×25) 各 2 本を使用して、固定金具が垂直になるように、確実に固定してください。

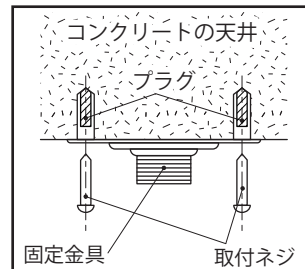


図 6

④ コンクリートの天井に取り付ける場合 2 (図 7)

天井にプラグボルトの長さより深めの穴を開けてください。市販品のプラグボルト 4 本を使用して、固定金具が垂直になるように確実に固定してください。

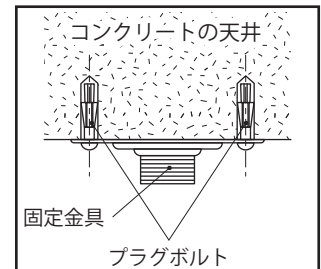


図 7

⑤ 金属類の天井に直接取り付ける場合 (図 8)

天井に取付ネジ用の穴を開けてください。取付ネジ (M5×40、M5×25) 各 2 本を使用して、固定金具が垂直になるように確実に固定してください。

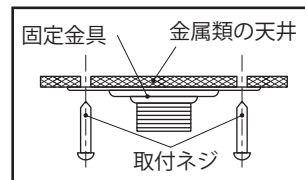


図 8

※図中の取付ネジ・ハンディアンカー・プラグ・プラグボルトの本数は省略しています。

3 本体容器を固定する

① 標準の高さで固定する場合 (図 9)

- (1) 固定金具に、固定用口金を垂直にねじ込んでください。
- (2) 緩み防止ネジ (M4×6) 1 本を使用して、確実に固定してください。

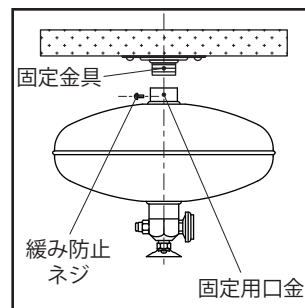


図 9

② 取付高さを調整する場合 (図 10)

- (1) 固定金具に、市販品のソケット (20A) と長ニップル (20A) を、垂直にねじ込んでください。
- (2) 長ニップル (20A) に固定用口金をねじ込み、確実に取り付けてください。
- (3) 長ニップル (20A) と固定用口金を緩み防止ネジ (M4×6) 1 本を使用して、確実に固定してください。

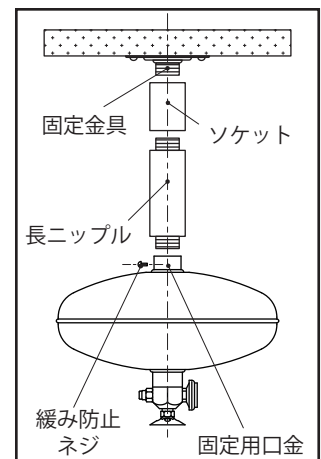


図 10

4 取付状態を最終確認する

- ☑ 本体容器が垂直に、しっかりと取り付けられている
- ☑ 指示圧力計の指針が緑色の範囲内 (0.7 ~ 0.98MPa) に入っている (図 11)
- ☑ 熱感知ノズルの取付方向が、火元と想定される場所に向き、確実に固定されている

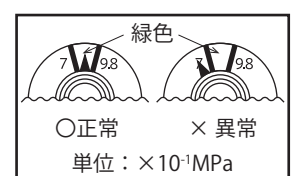


図 11

3. 点検

※精密点検は販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

下記のチェックポイントに従って、日常点検をしてください。

- ☑ **本体容器に変形・腐食・破損などがない**
変形・腐食・破損があると、破裂するおそれがあります。
- ☑ **本体容器が垂直に、しっかりと取り付けられている**
斜めや横倒しに取り付けると、十分な能力が発揮されず、放射されない可能性があります。
- ☑ **指示圧力計の指針が緑色の範囲内 (0.7 ~ 0.98MPa) に入っている (前ページ・図 11)**
範囲内にはない場合は、十分な能力が発揮できず、放射されない可能性があります。
- ☑ **熱感知ノズルの取付方向が、火元と想定される場所に向き、確実に固定されている**
取付方向が曲がっていたり、確実に取り付けられていないと、十分な能力が発揮されない可能性があります。

⚠ 注意

- ⊘ 日常点検のときに、消火装置のネジ部などを緩めたり、分解しないでください。
- ⊘ 掃除するときに、有機溶剤（ガソリン、ベンジン、シンナー等）や中性洗剤など使用しないでください。
消火装置を掃除するときは、柔らかい布等で、きれいに拭いてください。
- ❗ 製造年から5年を経過している場合、新しい消火装置とお取替えください。
- ❗ 異常な点を見つけたとき、整備、交換の際は、販売店、または当社のお客様相談室にご連絡ください。

4. 作動後の処置

⚠ 警告

- ❗ 消火後は、必ずガスの元栓を閉めてください。ガスが漏れていると危険です。
- ❗ 電気機器を使用している場合はすぐに電源を遮断してください。電気機器の絶縁を低下させることがあります。
- ❗ 消火薬剤が、目に入ったり、皮膚に付着したりしたときは、すぐに水道水でよく洗い流してください。
充血や目の痛みなどの異常を感じた時は、医師の診察を受けてください。
- ⊘ 消火薬剤は故意に口にいけないでください。消火薬剤がかかった食べ物は、絶対に食べないでください。

⚠ 注意

- ❗ 消火薬剤がかかった器物は、すぐに掃除してください。
飛散した消火薬剤は、そのまま放置すると、消火薬剤が湿気を帯びて、カビが発生することがあります。
また、器物を汚損し、金属類は腐食する可能性があります。
- ⊘ 一度放射したものは再使用できません。消火薬剤の詰め替えもできません。
新しい消火装置とお取替えください。その際は、必ず販売店、または当社のお客様相談室にご依頼ください。

5. 保証期間

- 保証期間はご購入日から1年間です。
- ご購入されたことを証明できるもの（領収書等）は、大切に保管してください。
- 本書や本体ラベルなどの注意事項に従った使用状態において、保証期間内に不具合を生じた場合は、
無償で新しい商品とお取替えいたします。それ以外の補償、賠償はご容赦願います。

6. お問い合わせ

ご質問やご不明なことがございましたら、販売店、または当社のお客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 TEL 0467-85-1210

(平日 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00, 土日祝休)

モリタ宮田工業 株式会社

〒253-8588 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-1-1